

Identification of the interaction patterns
between adult to adult living liver transplant
recipients and donors during the preoperative
hospitalization period and associated factors

金岡, 麻希

<https://hdl.handle.net/2324/1500542>

出版情報：九州大学, 2014, 博士（看護学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（2）

氏 名：金岡 麻希

論 文 名：Identification of the interaction patterns between adult to adult living liver transplant recipients and donors during the preoperative hospitalization period and associated factors

(成人間生体肝移植のレシピエントとドナーの影響要因と術前の交流パターンの検討)

区 分：甲

論 文 内 容 の 要 旨

生体肝移植はレシピエントとドナーの両者が存在して初めて成り立つ医療であり、レシピエントとドナーの2人は同じ目的で同時に手術を受けるという特殊な状況にある。本研究は、術前入院期間におけるレシピエントとドナーの身体的および心理社会的状況と両者の交流パターンを明らかにすることである。研究デザインは量的・質的データを用いた探索型記述的研究デザインを採用した。対象者は1つの大学病院で成人間生体肝移植手術を受けたレシピエントとドナーの9組である。レシピエントの肝硬変の重症度は、レシピエント自身の手術への意欲に影響を与え、さらに、レシピエントとドナーの交流パターンにも影響を及ぼしていた。交流パターンは、【同志・絆型】【自己意思補完型】【回避型】の3つの特徴的パターンに分類された。術前交流パターンが示されたことで、看護介入の方向性や糸口がつかめ、看護師の困惑や苦悩が軽減し、レシピエントとドナーへのより積極的な介入から移植看護の質の向上が期待できると考える。